

社会的ケアとテクノロジー： 日本・リトアニアのソーシャルワーク専門職の未来を探る

日時：2019年9月28日（土）14:00-17:30

場所：ルーテル学院大学

リトアニアのVILNIUS大学社会福祉学部の研究者を招聘し、テクノロジーがソーシャルワーク・福祉の実践、教育、研究領域にどのような変化をもたらすのかについて討論します。

第1部 14:00 - 16:15

「リトアニアの社会福祉制度におけるテクノロジー活用の状況：調査結果の報告」

L. Žalimienė, E. Šumskienė

「日本の社会福祉制度におけるテクノロジー活用の状況」山口麻衣・原島博・池田紀子

「リトアニアの人口動態の変化と社会における障がいと高齢によるニーズの高まり」

V. Gevorgianienė, J. Charenkova, R. Genienė

「日本における地域包括ケアの推進とICTの活用」廣瀬圭子・大曲陸恵・品田雄市

「リトアニアの精神保健領域における技術革新」J. Mataitytė-Diržienė

「新旧実践方法の揺り戻し？ICT革新の時代にソーシャルワーク実践の本質をどう受けとめたいのか。：日本の経験から」新名正弥・山口麻衣・小館尚文・高橋誠一郎

「技術革新と教育/学習：ソーシャルワークにアシスティブ・テクノロジーを導入する際の大学の役割」I. Adomaitytė-Subačienė

「専門職としての不確かさ：日本のソーシャルワーカーの事例から」浅野貴博

第2部 16:30-17:30

「リトアニアにおける技術革新の活用の増加に関連したソーシャルワークのジレンマと倫理」

D. Petružytė

「日本における技術革新の活用の増加に関連したソーシャルワークのジレンマと倫理」（仮）

ルーテル学院大学名誉教授 福山和女

コメンテーター：

ルーテル学院大学名誉教授 和田敏明

北海道社会福祉協議会・全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 中村 健治

■申し込み方法等■ セミナー参加費：無料

当日参加も可能ですが、資料の準備の都合上事前申し込みをお願いいたします。

参加ご希望の方は、1.ご氏名、2.ご連絡先(メールアドレスか住所)をご記入の上、**9月20日（金）までに**

fukushi@luther.ac.jpにご連絡ください。

18時よりレセプションを行います。関心ある方はぜひご参加ください。

(要予約。レセプション参加費2000円)

*本セミナーは日本学術振興会（JSPS）の二か国間交流事業（研究代表：山口麻衣）として助成を受けて、実施されます。

主催：ルーテル学院大学 コミュニティ人材養成センター

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20 電話0422 (31) 7920

ソーシャルワーカーのテクノロジーに関する意識調査への協力をお願い

本調査は、在宅（もしくは福祉や介護などの社会的ケア施設）でテクノロジーを利用することに関するソーシャルワーカー（社会福祉士等の対人援助に係わる専門職）の意識を明らかにすることを目的としています。

この調査は、ルーテル学院大学創立 110 周年記念事業 リトアニア・日本 2 か国間セミナー（社会的ケアとテクノロジー：日本・リトアニアのソーシャルワーク専門職の未来を探る）に関連して実施されるもので、ソーシャルワーカーのテクノロジーに関する意識の日本とリトアニアとの比較を目指しています。調査結果の一部は 9 月 28 日のリトアニア・日本 2 か国間セミナーで報告する予定です。

ぜひご協力お願いします。

ルーテル学院大学の「創立 110 周年記念事業」のホームページから調査にアクセスできます。

<http://www.luther.ac.jp/college/activity/memorial110event.html#JSPS> リトアニア日本二国間セミナー



問い合わせ：ルーテル学院大学 コミュニティ人材養成センター

fukushi@luther.ac.jp

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20 電話 0422 (31) 7920